

研究・調査報告書

報告書番号	担当
305	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Relationship between obesity, alcohol consumption, and physical activity of male office workers in SouthKorea. 韓国男性会社員の肥満、アルコール摂取と身体活動の関連	
執筆者	
Kim O, Jeon HO.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Nurs Health Sci. 2011 Dec;13(4):457-62.	
キーワード	
アルコール摂取、韓国、男性、肥満、過体重、身体活動	
要 旨	
目的： 韓国中年男性の肥満とアルコール摂取の関連についてはまだ報告が少ない。そこで本研究では韓国男性会社員の肥満とアルコール摂取の関連を共変量である身体活動を加味して調査した。	
方法： 141人の中年会社員は韓国ソウルの2つの会社から募集された。構造化質問票と身体成分分析器 (Inbody230) を用いてデータを得た。	
結果： 体脂肪とウエストヒップ比より、それぞれ 21.3%、47.5%の者が肥満であった。ほとんどの対象者は飲酒者で、先月の平均飲酒量は 52.26 杯だった。飲酒者のうち 38.8%は多量飲酒者だった。低いまたは中等度の身体活動を行っている者の割合は、それぞれ 73%と 22%だった。軽度飲酒者、中等度飲酒者、多量飲酒者の BMI、体脂肪、ウエストヒップ比は、身体活動を共変量に入れて調整すると有意な差がみられ、中等度飲酒者に比べて、軽度および多量飲酒者では高かった。	
結論： 過体重、肥満およびアルコール摂取の割合は韓国男性会社員で高かった。多量飲酒は肥満会社員の肥満に関連していると考えられる。	